

イベントへの参加学生の感想

栄養クリニック開設の目的のひとつ、「実践力のある管理栄養士養成のために、在学生在が様々なイベントに参加して、管理栄養士としての資質の向上を図る」という点から、栄養クリニックのイベントに本学食物栄養学科の学生の参加を積極的に受け入れている。在学中に社会のニーズに応じた実践力を備えるために、一般の方が健康や栄養に対してどのような考えを持っているか、経済性や個人の嗜好性、専門的な用語を使わず相手に分かり易く説明する力など身に付けなければならないことはたくさんある。

栄養クリニックで開催される様々な事業では、実際に管理栄養士が一般の方へ情報発信する姿を見ることが出来る。学生がスタッフと一緒に参加することで、どのような伝え方をすれば伝わりやすいのか、どのような情報に一般の方は興味を示すのかなど自身で課題を見つけ、対象者側に立った目線での食事指導や栄養指導ができるキャリアを身に付けて欲しいと考えている。

参加学生の感想

今後のために、とても勉強になった。声が小さいことや説明がスムーズにできないことがあり、経験を積んで直していけたらいいと思った。

(2回生/大学祭における栄養アセスメント体験)

専門的な知識を持たない方々にわかってもらえるようにするにはどう説明すべきなのか、などを考えるいい機会になった。大学の中で勉強しているときには経験できないことができてありがたい。

(2回生/大学祭における栄養アセスメント体験)

一般の方とのかかわり方を学ぶ良い機会になってよかった。ロコモティブシンドロームという言葉の知名度が思っていたより低いことを実感した。

(3回生/大学祭における栄養アセスメント体験)

事業名 (学生参加人数)

料理教室・学習会 (25)、食withプロジェクト (2)、附小ランチ (約500)、大学祭における栄養アセスメント体験 (25)、東山区地域連携事業高齢者の骨密度測定会 (37)、中信ビジネスフェア (6)、東日本大震災の被災者に対する栄養管理プロジェクト (8)

(須貝さゆみ)

